

第2回中野区バリアフリー基本構想改定協議会 議事要旨

1. 日時・会場

令和6年（2024年）11月7日（木）午前10時から午前12時
中野区産業振興センター 3階 大会議室

2. 協議会の様子



3. 議事

- （1）第1回協議会について
- （2）現構想の進捗状況・行政や鉄道事業者などのバリアフリー化の取組
- （3）改定に向けた課題と方針
- （4）移動等円滑化促進地区・重点整備地区の選定の考え方
- （5）区民アンケート・団体ヒアリングの内容

【主な意見】

第1回協議会について

○ユニバーサルデザインの推進に係る取り組みについて、ハートという取り組みまで行っている行政は少ない。PDCAサイクルを盛り込みながら、区有施設におけるユニバーサルデザインの評価・点検をしていく仕組みを持っている点も評価できる。

行政や鉄道事業者などのバリアフリー化の取組について

○みどりの窓口の減少によって、障害者割引の乗車券の購入が難しくなっている。子ども料金での購入で代用は可能か確認したい。代用が不可能であれば、自動券売機での障害者割引の乗車券の販売はできないか。

○障害者用のICカードが非常に便利である。知的障害のみ利用が可能なのか。色々な障害を持つ方が利用できればそれが心のバリアフリーになると思う。

○エスカレーターの利用について、左側は止まり、右側は歩くという利用方法が一般的になっているが、歩かずに利用してもらうよう各交通事業者には取り組んでいただきたい。右側の手すりを掴まざるを得ない障害の当事者の方もあり、苦労しているので何かできないかと考えている。

改定に向けた課題と方針について

- 中野区の手話言語条例の制定を受けて、2025年3月に中野区と共催で手話言語祭を開催する。
このような取り組みをバリアフリーもしくはユニバーサルデザインの取組としてどこかに記載できないか。

区民アンケート・団体ヒアリングの内容について

- 補聴器は補助具に入るのか。補助具と捉えずに、「1人で外出できる」と回答した場合、後段の質問との整合がつかなくなる。アンケートの選択肢等を工夫していただきたい。
- アンケートについて、当事者ではなく介助の方が回答する場合は当事者の方について回答をお願いします、という旨を記載してほしい。
- 視覚障害の方が視覚・視力の程度が記入できる様に工夫していただきたい。
- ヒアリング項目について、現在、行っていないが「行きたい場所」も聞けると良い。また、より具体的な場所まで聞いてほしい。

その他

- ユニバーサルデザイン推進計画に携わっているメンバーというのはどのような構成になっているかお伺いしたい。そのメンバーと本協議会とはリンクするところもあるため、連携を取れたら良い。

以上